

特集

「バル（BAR）」とは、スペインの街角で多く見られる、立ち飲み形式の飲食店のことで、複数の飲食店をはしごするという独特の楽しみ方があります。

これをまちおこしに活用しようとするのが「街バル」で、平成16年に北海道函館市で初めて行われました。

行ったことのないお店にはなかなか入りにくいもの。この「街バル」は、イベントを

気になるお店に行ってみるチャンス！
なかなか入れずにいたあのお店が、実はすごい名店かも

街バルイベント

食べて飲んで商店街を楽しくめぐる



お店自慢の一品を食べ歩き！

参加者は事前に購入した「バルパスポート」を持って気になるお店に行き、店舗自慢の料理を楽しむことができます。

通して初めてのお店でも気軽に入って料理を楽しんでもらう目的で行われています。

ます。

お客さんは今まで気になっていたけれど入ることをためらっていたお店の開拓に、お店はそんなお客さんに自慢の料理を提供してリピーターになってもらうといった取り組みがこの「街バル」です。

本市でも平成25年度から実施しています。地域・街・グルメをコンセプトに、地域のさまざまな飲食店などを、食べ歩き・飲み歩きして楽しむグルメイベントとして、毎回好評を博しています。

今年も11月に市内2カ所で「街バル」が行われます。この機会に、気になるお店に足を運んでみてはいかがでしょうか。

今年度の開催予定

越谷駅周辺：

11月6日(金)～8日(日)

北越谷駅周辺：

11月12日(木)～14日(土)

越谷の「商人魂」あなどるなかれ

商店街で行われている魅力いっぱいイベント



買い物客でにぎわう、昭和40年代半ばの蒲生の商店街

特集 身近な魅力・元気 再発見 商店街を楽しもう

最近、商店街に足を運んでいますか？

かつては市民の消費生活を一手に支え、まちを見守り、にぎわいを生み出してきた商店街。しかし近年では、店主の高齢化、後継者不足、大型店の進出、人々のライフスタイルの多様化、インターネットの普及などにより、空き店舗が増え、商店街そのものの魅力が失われつつあります。

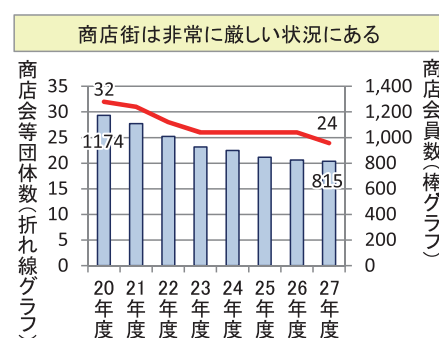
減少する市内の商店や商店会等の団体

本市では、平成11年に3000以上あった商店数は、23年には2000余りにまで減少しています。商店街を形成している商店会や協同組合といった団体、団体の会員数に至っては、さらに早いペースで減少しており、平成20年からわずか7年ほどで3分の2程度になってしましました（下表参照）。

再び活気を取り戻すために

ふだん商店街を利用しない方は、商店街に対してあまり良いイメージを持っていないかもしれません。「大型店の方が品揃えやサービスが良さそうだな」「顔なじみでない店に入って買い物するのはちよつと…」といった声があるのも事実です。

厳しい状況にある商店街ですが、商店主たちは、「今のまま



で良いのか」「地域の商店だからこそできることがあるのではないかと」、自分たちの持つ強みを考え、再び立ち上がろうとしています。

商店街には大型店のような便利さは無いかもしれませんが、人と人のつながり、温かい笑顔、商品に対する熱い思いと知識、まちの歴史など、多くの魅力があります。

今回の特集では、そんな商店街ならではの取り組みや魅力をご紹介します。

知って得する

生活の知恵



その道のプロだからこそ教えてくれる！
生活に役立つあんなことこんなこと

「まちゼミ」とは、「得する街のゼミナール（＝講座、講習）」の略称で、平成15年に愛知県岡崎市の商店街で始められました。その名のとおり、お店の方が講師となり、それぞれの専門分野についてプロならではの知識やコツを受講者であるお客さんに伝えるものです。

お客さんはプロの知識を得られ、お店は新たなお客さんを獲得でき、地域はお客さんが来ることでにぎわうという、いわゆる「三方よし」の新たな取り組みとして、「街バル」同様、全国に広まっています。



講師も思わず熱が入る

本市でも昨年度から越谷駅周辺と蒲生駅周辺で「まちゼミ」を開催しており、靴の手入れのしかた、冷え性・花粉症対策、金物の使い分け方など、計29の講座に136人が参加しました。

今年度の開催期間は左記のとおりです。知れば得する身近な知識が盛りだくさん。ぜひご参加ください。

今年度の開催予定

越谷駅周辺：開催中

～9月30日(水)

詳しくは市ホームページへ！
＊講座はすべて予約制のため、講座によっては満員となっていることがあります

蒲生駅周辺：平成28年

2月1日(月)～29日(月)

表紙の撮影にご協力いただいた皆さん【1列目・左から】越谷新町商店会・古川章子さん（駄菓子ふるかわ）、越谷西口商店会・小椋隆由さん（オーシャンレストラン カフェ ラ ホヌ）、コスモス商店会・中村克己さん（南ヤナカ商事）、大沢商店会・古川智史さん（イタリアンレストランメリーナイス）、北越谷商店会・山本理恵さん（麺や掣）、大沢三丁目商店会・鈴木奈緒美さん（Suzuki 1935/Liko）

▼ 越谷市本町商店会・富澤稔子さん（TCSとみざわ）、だるまカード協同組合・篠原正紀さん（しのはら寝具店（大袋店））
【左側2列目・左から】平方中央商栄会・荒井清さん（南近代ドライアイ商会）、大里商店会・伊藤進さん（椿飯店）、せんげん台東口商店会・石川修作さん（割烹千石家）＜4・5面に続く＞

特集



特集

と考えていたので。

小暮 商店会が無くなっても良いとは私は思いません。地域をつくる人間がいなくなってしまうからです。

桃木 商店会のあり方を見直すとしたら、今が最後のチャンスかもしれないですね。

——イベントについてはいかがでしょう

小暮 商店街でイベントをやるときは商店会が主催ですが、大規模なものを商店会だけで続けるのは大変なので、ほかのやり方を模索したいと思っています。

桃木 大きなイベントをやっている間は自分の店は閉めますからね。「何のためのイベントなの？」って話になってしまふ。

井上 私は小規模でもいいから毎日のようにお客さんがお店に来てくれるような取り組みをしていきたいですね。お客さんが買物をしたときに何かプラスアルファになるものがあれば、そ

まず、皆さんのお店がある商店街へはどんなところなのか紹介をお願いします

吉澤 南越谷はかつては何も無いところだったんです。40年ほど前に武蔵野線、東武線の駅ができてお店が建ち始めました。今ではお客さんも多くなっていますが、反面、昔ながらの店が少ないというのがあります。

桃木 大沢商店会は旧日光街道沿いの宿場町として発展してきました。南越谷商店会さんとは逆に昔からの店が多いですね。その代わり後継者不足にどの店も悩んでいる。新しい一手を模索しなければと考えています。

小暮 越谷中央商店会がある辺りは、もともと商店が集まっていた場所ではなく、2つの大型スーパーを核に形成された商店街です。現在でも大型店と中小の個店が比較的うまく共存してやっているかなと思います。

石川 せんげん台東口商店会は



越谷市商店会連合会・大沢商店会 会長

利幸さん

ちの方が喜ばれるんじゃないかと思うんです。

坂本 うちには抽選で商品券が当たるイベントをよくやるんですが、一度当たったお客さんは必ずまた応募してくれま

吉澤 商店街にとって、リーダーを確保するということが大事ですよ。

小暮 たとえば音楽のイベントを続けることで、その商店街に「音楽のまち」というイメージができて、関連するお店が商店街に新たにできる。ここがたぶん目指す先だと思うんです。

井上 「こういうまちにしたい」という目標を持ってやっていくのなら良いですね。

石川 こういった取り組みは、商店会にしかできないことだと思います。

小暮 ところで、女性の役員さんっていらっしやいますか？

坂本 うちはいないですが、何かあると自分の奥さんに相談するんです。男性とは違う女性の目線でアドバイスをもたらって次の理事会で出してみたいと思いますね。

井上 商店会の人でも、案外ど



せんげん台東口商店会 会長

修作さん

って盛り上げていきたいと思っています。

井上 新しい人が入って来なければ

な取り組みがお客さんにウケるかは疎かだったりしますよね。だからいろいろな人の意見を聞くのが一番良い。その中で女性の目線というのは絶対必要だと思います。

吉澤 南越谷の場合は勤めてる方が多くて、女性の店主が少ないんです。

小暮 なるほど。うちも理事は男性しかいないんですが、最後はなぜか必ず幕末の話になっちゃってるんですよ(笑)

——今後の抱負を聞かせてください

坂本 個人のお店の強みって、お客さんとのコミュニケーションだと思っています。例えば高齢の方が自転車でいらっしやたら、そこまで荷物を持つて行く。「うちのクローラー壊れちゃったのよね」と言われれば電器屋さんに聞いてあげる。我々がお客さんに応えられることはたくさんあります。商店街のみんなと一緒に



蒲生ショッピングモール商店会 青年部長

正範さん

イメージを作っていくのが商店会の目的の一つだと思います。

吉澤 商店会の役目は、まちを訪れる人の数を増やすこと。南越谷に行くとか何かあるぞとか、まちをぶらぶらしたら楽しいと思ってもらうために、それぞれの店をPRして、少しでもまちを歩く人が増える

桃木 私が商店会長を引き受けたときにやるぞと思ったのは、今あるお店が元気に活動しているよという姿勢を見せることでした。商店会のマスコットキャラクターをつくったり、曲をつくってみたり。面白そうだなと思ったら私は「良いぞ、やれやれ！」と言っています。

お店が元気じゃないと、商店街自体の価値が無くなってしまふ。お客さんだって元気の無いお店には行かないですよ。これからの世の中、急に店舗が増えてにぎやかになって人通りが増えて…とはならないかもしれない。でも地域の人のためにも、商店街はいつも元気でにぎやかにしていようと思います。

身近な魅力・元気 再発見 商店街を楽しもう

まちを元気に!! 商店主座談会

～越谷の商店街で活躍している皆さんに
商店街に対する熱い思いを語ってもらいました～



南越谷商店会 総務理事

雅隆さん

うちからいろんな経験ができて良かったなと思います。ただ、黙っていられない性格なので、最初はほかの理事の方から「こいつ生意気だ」と思われていたようです(笑)

——今の商店街・商店会についてどう考えていますか？

石川 せんげん台東口商店会は

坂本 私は蒲生ショッピングモール商店会で20代半ばのころから理事をやっています。若いうちからいろんな経験ができて良かったなと思います。ただ、黙っていられない性格なので、最初はほかの理事の方から「こいつ生意気だ」と思われていたようです(笑)

——今の商店街・商店会についてどう考えていますか？



大袋商店会 会長

亮二さん

坂本 実際に商売をやっている、やはり一番多い利用者は地域の高齢者ですね。

石川 イメージとして、まちなかに肉屋や魚屋があると「あー、商店街だな」って感じますね。

吉澤 確かにそうですね。南越谷は生鮮三品(肉屋・魚屋・八百屋)の個店はゼロですよ。蒲生は3つともありますよね。昔ながらの商店街といった感じで羨ましいと思います。

桃木 地域の人たちは「個店が良いね」と言ってくれますね。ただ、肝心の店主が歳を取っちゃって、お客さんが必要としているものを売れなくなっているという問題もありますね。

井上 商店街は商店が集まっているまち、商店会はその中でつくられた組織ですが、商店会に入っていない店も多く、商店会の意義というのが昔に比べて薄れてきているのかなと考えたこ



越谷中央商店会 事務局長

直正さん

も喜んでくれましたよ。取り組みを成功させるには商店会みんなの協力が不可欠だけど、やろうと思えばできるんだという実感を持ってましたね。

井上 「地域のために」というのは少し意外でした。それはどちらかというと自治会とかそういったものの役割かな

ともあります。

吉澤 商店会は共助の世界だと思っています。自分でできることは自分でやる、いわゆる自助が基本ですが、商店街全体に街路灯を立てて明るくするときにはどうするのか。自分一人だけではできないですからね。

*街路灯の取り組みについては4ページを参照

小暮 新しいお店を商店会へ勧誘をするとき「商店会は何のためにやっているの？」というのは必ず聞かれますね。私は、商店会は地域のためにあると思っています。店の前の道や、その地域をどうすれば良くできるのかと考えるのは、やはりそこにいる人だと思っています。

石川 以前、近くの大型店から「地域と連携したい」という話を頂いて、駅前通りに花のプランターを100個、地元の幼稚園に花植えを協力してもらって置きました。きれいに咲いて地域の人も喜んでくれましたよ。取り組みを成功させるには商店会みんなの協力が不可欠だけど、やろうと思えばできるんだという実感を持ってましたね。